

質疑応答や要望（概要）について

（令和 7 年 11 月 15 日開催）

	内 容	回 答
1	自然環境が豊かで、少人数教育や地域との交流もある魅力的な小学校がなくなることは残念です。統合後の小学校の跡地活用はどうなりますか。	現時点では決まっていません。今後、検討していくこととなります。
2	スクールバスも良いが、徒歩で小学校に行くことができる選択肢があってもいいのではないのでしょうか。（藤岡市）鬼石小への県をまたいだ通学は可能ですか。	状況に応じた個別配慮が必要な場合には、区域外就学が可能な場合もありますが、児童数によって教員数の配置等も考慮しなければならないことや、県をまたいだ教育委員会との協議が必要であり、慎重な判断が必要です。
3	統合までの期間があと 1 年と少しくなっています。スクールバスの予定や、青柳小学校の PTA にどうやって参入していくかというところが気になるところです。早めにスケジュール等を教えていただきたい。	両校の PTA の意見交換を含め、できる限り早期にスケジュールを示したいと考えています。
4	人口比率等で学区をうまく分けて、東西南北で小学校を配置することも将来的には必要ではないのでしょうか。	小学校の配置に係る将来的なことについては、今後検討させていただきます。
5	かつての町の計画では、当面は小学校を丹荘小学校と青柳小学校の 2 校を残し、その後、神川中学校の敷地に統合小学校を設置する予定だったと思うが、決定しているのでしょうか。	中学校の敷地内に統合後の小学校が入るというシミュレーションはできており、議会にも概要は説明しておりますが、決定ではありません。今後、検討してまいります。
6	一番の課題は国全体の人口の減少であってどうしようもないので、町としても統合問題を進めていると思います。先行した渡瀬小学校と青柳小学校の統合を基本に、神泉だけを特別扱いするようなことなく、また、地元の人が不安なく統合を迎えられるように、進めていただきたい。	渡瀬小学校と青柳小学校の統合同様に、地域の事情に合わせ、統合準備を進めてまいります。

7	<p>子どもたちの将来を考えたときに、小学校の統合を1年早めたほうがいいという考えは理解できました。小中一貫校も子どもたちの未来を見据えて取り組んでいただきたい。</p>	<p>小中一貫校については、近隣市町でもそういう構想は出てきていると思います。先程説明した建物であるハード面だけではなく、ソフト面でも小中連携事業として、小学校と中学校の先生が授業の研究会を行うなどの準備を進めています。</p>
8	<p>学力もいいが、心身が大事だと考えます。心身のことも考えて取り組んでいただきたい。</p>	<p>例えば、田植えや梨栽培で農家さんに来ていただくなど、学校で様々な取り組みを行っており、今後も居心地の良い学校づくりに取り組んでまいります。</p>